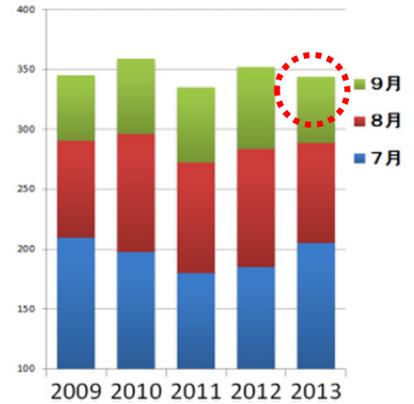




ハイライトよねやま163

1 寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べ2.3%減、約790万円の減少となりました。今年度は好調を維持していましたが、普通寄付金が0.4%増えたものの、特別寄付金が5.8%減と、やや減少傾向となりました。今月は米山月間です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は **10月31日(木)** です。当会ホームページの **寄付金について** →「普通寄付金: 申告用領収証の申請はこちら」から申請してください。
*特別寄付金の申告用領収証は、申請不要です

2 アジア学院から米山記念奨学会が表彰されました



アジア学院 (Asian Rural Institute) の創立 40 周年記念式典が 9 月 16 日、栃木県内のキャンパスで開催されました。

アジア学院は 1973 年の創立以来、アジア・アフリカ・太平洋地域を中心とする農村リーダーの人材育成を行っており、第 2550 地区では「地区奨励奨学金」の指定校とし支援しています。今回、これまでにアジア学院で学ぶ 212 人 (29 カ国) を支援した功績が評価され、板橋敏雄理事長に感謝状が授与されました。

式典には、ロータリー関係者として黒羽 RC、西那須野 RC、東京南 RC の各会員、宮崎幸雄元事務局長、岩邊俊久事務局長らが出席し、全体で 300 人ほどが参加する盛大な会となりました。

3 米山月間にこんな例会はいかがですか？

10月の米山月間にお使いいただける資料を9月下旬に全クラブへ送付しました。お手元に届きましたか？これらの資料をご活用いただくほか、奨学生・学友による卓話の機会を作っていただき、米山記念奨学事業への理解を深める月間にしていただきますよう、お願いいたします。

▶ 豆辞典とパワーポイントを使ってプレゼン

米山月間資料として全会員数分お送りした『豆辞典』をテキストに、解説用パワーポイント(当会HPからダウンロードできます)を使って米山奨学事業についての卓話をする



▶ DVDを使って直感的な理解を

当会では数種類の動画を用意しています。事業の概要を解説する「ひろがれ！人づくりの輪」のほか、巣立った学友の紹介、イベント記録動画などがあります。いずれも 10～15 分ですのでぜひ例会で上映してください。ご希望のクラブにはDVDを無料で送付します。

▶ 何と言っても奨学生・学友の生の声が一番！

やはり、ロータリアンが最も関心を寄せているのは、現役奨学生や学友による卓話です。世話クラブになっていないクラブを含め、奨学生らが卓話行脚にまわる地区もあります。10月の米山月間に限定せず、できるかぎり、彼らの生の声を聞く機会を持ってください。

4

留学生感想文コンテストで米山奨学生が最優秀賞受賞



「国際博物館の日」記念事業の一環として実施された、上野ミュージアムウィーク（UMW）留学生感想文コンテスト（主催：上野のれん会他）において、長野大学 3 年の米山奨学生、白柳爛さん（韓国／2013-15／上田 RC）が最優秀賞を受賞しました。留学生ならではの視点で、上野の文化施設を初めて訪れた感想を綴った白さんのエッセイは、審査員から高い評価を得て、最優秀作品 2 編のうちの一つに選ばれました。白さんは「最優秀賞を頂き、ありがとうございます。上野のミュージアム巡りは、いつもの生活から抜け出し、一人の時間を楽しみ、文化的な体験ができた幸せな時間でした。上野で見たことをきっかけに、今後は世界で視野を広げていきたいと思います」と、受賞の喜びを語っています。

5

高校で国際交流奉仕活動を実施 — 東京米山友愛 RC —

米山学友を中心に設立されたクラブ、東京米山友愛 RC と東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同プロジェクトとして、9 月 28 日、東京都立小平高等学校で国際交流の授業を実施しました。

発起人の東京米山友愛 RC 会員、朴貞子さん（中国／2006-08／岸和田 RC）は、第 2640 地区での奨学生時代に、地区米山奨学委員会が企画した高校生との交流事業に参加。「とても感動し、一生の思い出になったその活動を、ロータリアンとなった今、クラブのメンバーや関東地区の米山奨学生と一緒にぜひ再現したい」と提案し、仲間と共に受け入れ先の高校を探して、3 年がかりで実現にこぎつけました。

当日は、同校の 2 年生 281 人と、両 RC 会員や現役米山奨学生ら 37 人が講師として参加。台湾への修学旅行を控えた生徒たちに中国語の授業を行ったほか、さまざまな国籍の会員・奨学生が母国について紹介するグループ授業を行いました。どのクラスも和気あいあいと笑顔の交流が図られ、生徒からは「講師がフレンドリーで、とても楽しかった」「話が尽きなかった」「一生懸命私たちに教えてくれているのがすごく伝わった」などの感想が寄せられました。また、副校長からは「開校から 50 年経つが、今日はまさに画期的な日。ぜひ継続をお願いしたい」との講評がありました。



朴さんは「皆のチームワークのおかげで大成功を収めることができ、感謝しています。ロータリアンが支援した米山奨学生が、“日本の未来”である高校生のために貢献することは、ロータリーだからこそできる奉仕。今回参加した奨学生たちが同じように次の奨学生を引っ張って、米山の精神を継続していくことを期待しています」と、語りました。



発起人の朴貞子さん

よねやま親善大使ってどんな人？

初代よねやま親善大使に選ばれた二人の学友を紹介する最新 DVD（12 分）が完成しました！ホームページで視聴できるほか、希望者には DVD をお送りします。お問い合わせは事務局広報担当まで。



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当：野津・峯